事例No.	2423
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	島の旅社推進協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

島のかあちゃんたちがもてなす「島の旅」

出典

平成26年度優良事例表彰一覧

三重県鳥羽市

総務大臣賞

島の旅社推進協議会

島のかあちゃんたちがもてなす「島の旅」



大潮の時にできる干潟で水生動物の観察を行う「浮島自然水族館」。子どもたちは磯場で生き物の命や自然環境について学ぶ。

事例の概要

鳥羽市は、市内全域が伊勢志摩国立公園に指定されており、特に有人離島は恵まれた自然とそれぞれの島特有の歴史文化を有している。

平成 17 年の中部国際空港の開港にあたり、一人でも多くの人が鳥羽市を訪れるための「島の旅社」構想が鳥羽市戦略プランの中で提案され、この構想をもとに、島の女性と島外から島に嫁いできた女性が中心となって、鳥羽市にある島の住民により、平成 16 年に「島の旅社推進協議会」が設立された。

以後、島の資源を有効に活用した海女小屋体験、浮島自然水族館など各種体験メニューのプロデュースを行い、地域と連携しながら、様々な事業を展開している。これらの体験メニューの取組により、毎年 1,300 人を超す参加者があり、交流人口の増加や島への経済効果を生んでいる。



島の旅社推進協議会のみなさん

評価のポイント

豊かな自然と特有の歴史文化や生活が息づく４つの有人離島をもつ鳥羽市では、「鳥羽市戦略プラン」の作成に向けてワーキングチームが立ち上がり、市役所職員と島民が一緒になって、様々な形で島の資源の掘り起こしが行われた。

そして、鳥羽市答志島で、「ないものねだり」でなく「あるものさがし」をして、その魅力を島外の人に知ってもらい、島内の人には再発見してもらうことをコンセプトとして、平成 16 年に設立されたのが「島の旅社推進協議会」である。

その活動は、期日限定で無人島の自然の中で遊び学ぶ「浮島自然水族館」、島の人たちが普段食べている島の逸品を味わいながら島のかあちゃんたちのガイドで巡る「路地裏つまみ食い体験と海女小屋」ツアー、港での魚釣りや市場見学、漁師さんから網の扱いを学ぶロープワーク実習などを組み合わせた小学生向けの体験学習プログラムなど多岐に渡る。年に 10 日程度しか開催できないメニューもあるが、リピーターが多く安定した集客を獲得している。

スタッフを務める女性の多くが漁業関係者であり、「作りもの」でない島にある良さを丁寧に伝えていること、島民が協力して活動を支えていること、まず家々での漁業の営みを大切にして無理に多くの集客を得ようとせず、島の良さ・生活空間を楽しんでもらえる規模に留めていることなど、「島の旅社」のみならず、島全体が一丸となって地域振興に取り組んでいることが高く評価された。

島民自身の「島の人が島のことをよく知らない」という気付きをそのままにせず、それを原点に島民の暮らし調査や海岸線調査等を行い、島の資源を掘り起こし、時間を掛けて丁寧に下地を作りコンセプトを定めたこれまでの活動は目に見える着実な成果を挙げており、今後は、更にこれらの活動を島民の誇りの醸成や島の経済循環に結びつけていくような取組にも期待したい。



答志島の沖合に浮かぶ無人島の「浮島」に行き、大潮の時にできる干潟で水生動物の観察を行う「浮島自然水族館」。学んだ後はリリース。



大漁、海上安全を祈念して行われる八幡祭りの説明に耳を傾けている外国から来た観光客。答志島の文化に興味津々。



島外から嫁いできた花嫁が中心になり、見過ごされがちな島の伝統や歴史文化、風習を発掘して、お客さんに島の魅力を体験していただく。

DATA 三重県鳥羽市（とばし）

団体名●島の旅社推進協議会
所在地●〒517-0002　三重県鳥羽市答志町943
連絡先●TEL：0599-37-3339　FAX：0599-37-3344
E-mail：info@shima-tabi.net　URL:http://www.shima-tabi.net/

【交通のご案内】
(1)各地から佐田浜港まで
自動車●伊勢自動車道伊勢ＩＣから伊勢二見鳥羽ラインで10分
鉄　道●JR参宮線鳥羽駅、近鉄鳥羽線鳥羽駅から徒歩10分
飛行機●中部国際空港から名鉄（名古屋まで）、JRまたは近鉄で1時間30分
(2)佐田浜港から和具港まで
船　●市営定期船で20分（和具港から徒歩5分）



▶国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
30,521	28,812	24,945	23,067	21,435

▶人口増減率（単位：%）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-29.8	-25.6	-14.1	-7.1

▶高齢者・若年者比率（H22 年）（単位：%）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
29.7	13.3